

第1回 苅田港港湾脱炭素化推進協議会

議事概要

日時： 令和5年12月25日（月）14:00～16:00
場所： ブルーポートホテル苅田北九州空港（会議室ダイヤモンド）
開催形式： 対面及びWebの併用

【議事概要】

（議事2：規約）

事務局より、規約（案）を説明し、構成員の承認を頂いた。

（議事3—1：港湾法改正・マニュアル改訂について）

事務局より、港湾法の改正及びマニュアルの改訂について説明し、確認を行った。

- ・ 港湾法の一部改正
- ・ 各港における港湾脱炭素化推進協議会の設置状況
- ・ 「港湾脱炭素化推進計画」マニュアル改訂

（議事3—2：苅田港港湾脱炭素化に向けた取組について）

事務局より、昨年度に実施した前回協議会の振り返り、アンケート調査結果、港湾脱炭素化推進計画（イメージ）について説明し確認を行った。

<構成員>

CO₂削減に向けて、各企業は努力し取組を進めていると思う。今後、水素・アンモニアの活用が大きなテーマになると思うが、苅田港では、何を目標しているのか。

<事務局>

本協議会を通じて関係者で議論を重ね、連携し、従来の燃料をどのように水素・アンモニア等の次世代エネルギーに転換していくのか、また、港湾でどのような取り組みができるのかを見出し、苅田港のカーボンニュートラルに近づいていくことを目指す。

<構成員>

他港の先進事例も参考に道筋を作ってもらいたい。

<構成員>

荻田港では、バイオマス発電所の木材チップ等を扱うために、今年度より新松山地区で岸壁等の関連施設を整備している。「港湾・臨海部における脱炭素化に貢献する事業」として検討頂きたい。また、各企業においても、バイオマス及び水素の受入整備等について検討しているものがあれば、この事業の中に盛り込んでいけるのではないかな。

<事務局>

岸壁等の整備につきましては、「港湾・臨海部における脱炭素化に貢献する事業」として検討させていただきます。また、各企業におかれましても、検討されている取組等があれば、事務局に情報提供いただきたい。

(議事3—3：情報提供について)

事務局より、CNPの形成に資する技術・取組の事例、国土交通省が実施する「港湾におけるGXの推進」、「命を育むみなとのブルーインフラ拡大プロジェクト」等について説明を行った。

(議事3—4：企業の取組について)

構成員3社より、脱炭素化に資する取組について紹介頂いた。

<構成員>

水素・アンモニアの利用・活用を促進するため関連施設を造る規模をある程度想定してもらいたい。

<事務局>

将来、水素・アンモニアを利用する施設の整備が考えられるが、需要を把握する必要があると考えている。

(議事3—5：今後のスケジュールについて)

事務局より、今後のスケジュール及び次回協議会の予定について説明を行った。

以上